

平成20年度事業報告書

事業報告書目次

I 概要

II 組織

- II-1 会則・規程等
- II-2 会員および会費
- II-3 役員・顧問・職員
- II-4 会議
- II-5 大学との関係
- II-6 ボランティアスタッフ
- II-7 管理業務(特記事項)

III 事業

- III - 1 運営支援事業
- III - 2 財政支援事業
- III - 3 生活支援事業
- III - 4 広報渉外事業
- III - 5 サークル・サポート事業(天久保店・事務所併設店)
- III - 6 グッズ&メディア
- III - 7 パーソナル・サポート事業(大学会館店・追越店)
- III - 8 付随的収益事業

I 概要

大学との関係では、「国立大学法人筑波大学と紫峰会（筑波大学学生後援会）における保有個人情報等の提供等に関する申合せ」を締結した。

入会状況については、大学との関係の明確化、入会呼びかけ、入会案内書類の強化などの取り組みなどを行った結果、年度末時点での平成20年度学群入学者保護者の入会率は72.04%、大学院入学者保護者の入会率は26.74%となり前年度と比較し大幅な改善が見られた。目標である学群70%は達成したが、大学院30%には至らなかった。また加入者数では学群1752人、大学院637人となり過去最高であった。

各事業の決算では会費収入においては、学群新生の保護者が目標を上回ったこともあり合計68,834千円で予算比約170千円増とほぼ見込み通りとなった。事業収入の売上収入においては、UTコレクションにおいて、大学会館店の開店などにより売上は27,764千円となり目標額を大きく上回る金額となった。ただ、事業収入全体では使用料収入などが予算を下回ったこともあり約54,358千円で予算比2,112千円減となった。支出では、事業費支出全体では105,621千円で予算比1,498千円減となり、一般会計全体では、約5,736千円の黒字、正味財産は10,224千円の増加となった。

II 組織

II-1 会則・規程等

特に無し。

II-2 会員および会費

会員種別	会員数	継続数	新規入会数	退会数	会費入金額(単位:円)
正会員 1	8,215	5,676	2,539	1,789	67,959,070
正会員 2	259	205	54	25	593,000
賛助会員(学内)	7	1	6	0	8,000
賛助会員(一般)	127	95	32	40	224,000
賛助会員(団体)	1	1	0	0	50,000

正会員 1 会員(学生父母等)、学年別会員数内訳

学年	学群	大学院	合計
1 年	1,667	637	2,304
2 年	1,502	655	2,157
3 年	1,514	56	1,570
4 年	1,836	54	1,890
5 年	64	160	224
6 年	70		70
合計	6,653	1,562	8,215

II-3 役員・顧問・職員

役員(任期:平成20年4月1日~平成21年3月31日)

会 長	平野 信之	学生父母等(医学類3 / 体育会医学支部推薦)
副会長	江田 昌佑	筑波学都資金財団常務理事
常務理事	斉藤 浩一	同窓生(文サ連初代運営委員長)
	大森 哲郎	同窓生・紫峰会事務主幹
理 事	染谷 朱美	学生父母等(生命環境1 / 文サ連推薦)
	山崎 和茂	学生父母等(シス情2 / 体育会本部)
監 事	岡田 康治	学生父母等(シス報2 / 芸サ連推薦)
	小林 千洋	同窓生(体育会初代委員長)
	角海 紀雄	同窓生(芸サ連第3期会長)
	染谷 信洋	筑波学都資金財団・筑波研修センター所長
	鮎川 光義	学生父母等(社会工学類3 / 全代会推薦)
	高野 大二郎	筑波学都資金財団・学生宿舍管理事務所所長

顧問

(役職指定)	腰塚 武志	筑波大学副学長(学生生活担当)
	加賀 信広	筑波大学学生担当教員室長・学生生活支援室長
	澤江 幸則	筑波大学学生担当教員室員
	近藤 正英	筑波大学学生担当教員室員
	宮田 政拓	筑波大学学生部長
	宮坂 重喜	筑波大学学生生活課長

職員等

種職員	大森 哲郎	事務主幹、週1日勤務
	北澤 徳之	週5日勤務
	久保 栄比幸	週5日勤務
	村上 公一	週5日勤務
種職員	齋藤 徳夫	経理担当、週4日×6時間勤務
	須藤 豊	広報・庶務・追越店担当、週3日×6時間勤務
パート職員	山口 秀峰	UTCollection・大学会館店・追越店担当 週5日×8時間勤務
	吉岡 由紀	経理・総務・担当 週5日×8時間勤務
	長谷川英祐	大学会館店・追越店・UTCollection担当、週5日×8時間勤務
	久保田ひすい	大学会館事務所併設店・UTCollection担当、週4日×6時間勤務
	加藤 菜摘	追越店担当、週3日×6時間勤務
	小倉 久美子	大学会館店・UTCollection担当、週3日×6時間勤務
アルバイト	上坂 元紀	追越店・UTcollection・UTservice担当、週4日×6時間勤務
	(大学会館)	週約60人・時間
	(追越)	週約20人・時間

II-4 会議

総会																			
	会則第14条に基づき、理事会をこれに代えた。 結果報告は紫峰会報紙面において行った。																		
理事会																			
第61回(2008.6.15)	<p>1. 審議事項</p> <p>(1) 第60回理事会の議事録抄案承認の件</p> <p>(2) 筑波大学・紫峰会連携協議会の設置等に関する覚書について</p> <p>(3) 平成19年度事業報告書案承認の件</p> <p>(4) 平成19年度収支予決算書案承認の件</p> <p>(5) 平成20年度紫峰会役員案承認の件</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 財産貸付契約について</p> <p>(2) 平成20年度入会状況について</p> <p>(3) 学内賛助会員の募集について</p>																		
第62回(2009.2.7)	<p>1. 審議事項</p> <p>(1) 第61回理事会の議事録抄案承認の件</p> <p>(2) 平成20年度紫峰会役員追加選任の件</p> <p>(3) 国立大学法人筑波大学と紫峰会(筑波大学学生後援会)における保有個人情報等の提供等に関する申合せについて</p> <p>(4) 平成20年度課外活動団体援助金系別配分額案承認の件</p> <p>(5) 平成21年度事業計画書案承認の件</p> <p>(6) 平成21紫峰会役員案承認の件</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 平成20年度入会状況について・</p> <p>(2) 学内賛助会員の募集について</p>																		
学生財務会議																			
構成員	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>平成20年4月～12月</td> <td>平成21年1月～3月</td> </tr> <tr> <td>文化系サークル連合会財務局長</td> <td>大澤 祐美子</td> <td>山田 哲也</td> </tr> <tr> <td>芸術系サークル連合会財務局長</td> <td>大島 美月</td> <td>市川 泰地</td> </tr> <tr> <td>体育会財務局長</td> <td>神田 靖彦</td> <td>山内 正信</td> </tr> <tr> <td>体育会医学支部財務担当</td> <td>松村 えりか</td> <td>上野 裕一</td> </tr> <tr> <td>全代会学内行事専門委員会 担当職員</td> <td>堀米 辰也 北澤 徳之</td> <td>田沼 秀紀 北澤 徳之</td> </tr> </table>		平成20年4月～12月	平成21年1月～3月	文化系サークル連合会財務局長	大澤 祐美子	山田 哲也	芸術系サークル連合会財務局長	大島 美月	市川 泰地	体育会財務局長	神田 靖彦	山内 正信	体育会医学支部財務担当	松村 えりか	上野 裕一	全代会学内行事専門委員会 担当職員	堀米 辰也 北澤 徳之	田沼 秀紀 北澤 徳之
	平成20年4月～12月	平成21年1月～3月																	
文化系サークル連合会財務局長	大澤 祐美子	山田 哲也																	
芸術系サークル連合会財務局長	大島 美月	市川 泰地																	
体育会財務局長	神田 靖彦	山内 正信																	
体育会医学支部財務担当	松村 えりか	上野 裕一																	
全代会学内行事専門委員会 担当職員	堀米 辰也 北澤 徳之	田沼 秀紀 北澤 徳之																	
毎週1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課外活動団体援助金系別配分額案作成 ・ 特別援助金審議 ・ 課外教育行事援助金審議 ・ その他 																		

II-5 大学との関係

筑波大学・紫峰会連携協議会	
構成員	<p>腰塚 武志 学生生活担当副学長 平野 信之 紫峰会会長 大森 哲郎 紫峰会常務理事 加賀 信広 学生生活支援室長 近藤 正英 学生生活支援室員 澤江 幸則 学生生活支援室員 宮田 政拓 学生部長 奥澤 隆 総務課長補佐 北沢 徳之 紫峰会職員 久保栄比幸 紫峰会職員 村上 公一 紫峰会職員 宮坂 重喜 学生生活課長 菊池今朝貴 学生生活課課長補佐 土子 昇 学生生活課専門職員</p>
第4回(2008.6.2)	<p>審議事項 (1) 第3回連携協議会議事録について (2) 平成19年度事業報告書(案)について (3) 平成19年度収支計算書(案)について (4) 平成20年度紫峰会役員(案)について (5) 学内賛助会員について (6) 貸付金・援助金等の手続きについて (7) 第61回紫峰会理事会について 5. 報告事項 (1) 筑波大学・紫峰会連携協議会の設置等に関する覚書について (2) 財産貸付契約書について (3) 平成19年度末・平成20年度新入生加入率について (4) 業務報告等</p>
第5回(2008.12.15)	<p>審議事項 (1) 第4回連携協議会議事録について (2) 個人情報の契約について (3) 作業チームの設置について (4) 育成指導給付について 報告事項 (1) 平成20年度新入生加入率について (2) 業務報告等</p>
第6回(2009.1.27)	<p>審議事項 (1) 第5回連携協議会議事録(案)について (2) 国立大学法人筑波大学と紫峰会(筑波大学学生後援会)における保有個人情報等の提供等に関する申合せ(案)について (3) 平成21年度事業計画書(案)について (4) 平成21年度収支予算書(案)について (5) 平成20年度紫峰会役員追加選任について (6) 平成21年度紫峰会役員(案)について (7) 平成20年度課外活動団体援助金系別配分額(案)について (8) 入会促進プランについて (9) 第62回紫峰会理事会の議題について 報告事項 (1) 学生証用ICカード(白カード)の販売について (2) 平成20年度新入生加入率について (3) 作業チームの設置について (4) 業務報告等</p>
顧問意見確認事項	
各種援助金の支給 各種貸付金の貸付け	<p>援助金申請書にて、顧問を代表し学生生活支援室の意見(確認印) 貸付金申請書にて、顧問を代表し学生生活支援室の意見(確認印)</p>

大学機関主催行事等への役員等の参加																																		
スポーツ・デー 宿舍祭 学園祭・雙峰祭 リーダー研修会 全代会研修会	開会式、援助金目録贈呈（会長：平野信之） オープニング参加・目録贈呈（会長：平野信之） 後夜祭ステージ、援助金目録贈呈（会長：平野信之） 研修参加、援助金目録贈呈（担当職員） 研修参加、援助金目録贈呈（担当職員）																																	
学生広報会議																																		
構成員	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>平成19年4月～12月</td> <td>平成20年1月～3月</td> </tr> <tr> <td>文化系サークル連合会</td> <td>局長：風間 善光</td> <td>猪熊 隼人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>局員：松井 基晃</td> <td>岡部 俊生</td> </tr> <tr> <td>芸術系サークル連合会</td> <td>局長：宮木 祐任</td> <td>三上 由佳莉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>局員：片山 はなこ</td> <td>平山 直之</td> </tr> <tr> <td>体育会</td> <td>局長：石川 桂</td> <td>一杉 亮</td> </tr> <tr> <td></td> <td>局員：井原 綾子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>体育会医学支部</td> <td>局長：安部 悠人</td> <td>池田 和大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成20年4月</td> <td>平成20年5月～21年3月</td> </tr> <tr> <td>全代会学内行事専門委員会</td> <td>：田沼 秀紀</td> <td>青山 えりか</td> </tr> <tr> <td>担当職員</td> <td>久保栄比幸・須藤 豊</td> <td></td> </tr> </table>		平成19年4月～12月	平成20年1月～3月	文化系サークル連合会	局長：風間 善光	猪熊 隼人		局員：松井 基晃	岡部 俊生	芸術系サークル連合会	局長：宮木 祐任	三上 由佳莉		局員：片山 はなこ	平山 直之	体育会	局長：石川 桂	一杉 亮		局員：井原 綾子		体育会医学支部	局長：安部 悠人	池田 和大		平成20年4月	平成20年5月～21年3月	全代会学内行事専門委員会	：田沼 秀紀	青山 えりか	担当職員	久保栄比幸・須藤 豊	
	平成19年4月～12月	平成20年1月～3月																																
文化系サークル連合会	局長：風間 善光	猪熊 隼人																																
	局員：松井 基晃	岡部 俊生																																
芸術系サークル連合会	局長：宮木 祐任	三上 由佳莉																																
	局員：片山 はなこ	平山 直之																																
体育会	局長：石川 桂	一杉 亮																																
	局員：井原 綾子																																	
体育会医学支部	局長：安部 悠人	池田 和大																																
	平成20年4月	平成20年5月～21年3月																																
全代会学内行事専門委員会	：田沼 秀紀	青山 えりか																																
担当職員	久保栄比幸・須藤 豊																																	
（毎週1回程度）	<ul style="list-style-type: none"> ・「紫峰会報」の編集・取材等打ち合わせ ・研修（カメラ操作方法・撮影・編集など） ・紫峰会報発送作業段取り ・「紫峰会ホームページ」への情報提供 ・各系広報誌収集・情報交換 など 																																	

II-6 ボランティアスタッフ

課外活動資料室白書編集部	
構成員	古畑俊一郎（白書編集長・システム情報工学研究科2年） 山本 純（システム情報工学研究科2年） 中村 昌弘（システム情報工学研究科1年） 山田 拓（比較文化学類4年） 衣川 洋史（工学システム学類4年） 小松崎洋志（生物文化学類4年） 久保栄比幸（職員） 村上 公一（担当職員）
（毎週1回程度）	<ul style="list-style-type: none"> ・課外活動資料・情報の収集・整理 ・課外活動白書の編集・発行
課外活動資料室広報部会	
構成員	倉垣内 将賢（全代会元広報委員長・人文学類4年） 尾池 響平（芸サ連元広報局長・情報学類4年） 長野 真美（芸サ連元運営委員・日本語日本文化学類3年） 風間 善光（文サ連前広報局長・社会工学類3年） 久保 栄比幸（担当職員）
（毎週1回程度）	<ul style="list-style-type: none"> ・学生広報会議の議題の整理 ・紫峰会報の編集・取材 ・紫峰会報編集作業のための「広報マニュアル」を作成
課外活動資料室財務部会	
構成員	高井 一成（生物学類4年） 片山 裕士（システム情報工学研究科2年） 稲村 拓也（生物3年） 北沢 徳之（担当職員）
（毎週1回程度）	<ul style="list-style-type: none"> ・学生財務会議の議題の整理 ・会計面接およびその準備 ・会計マニュアルの編集

UTコレクション企画室	
構成員	五十嵐治也（室長・元筑波大学副学長） 三田村峻右（元芸術学系教授） 穂積 毅重（芸術学系教授） 蓮見 孝（芸術学系教授） 齋藤さだむ（元筑波大学技官・写真家） 北澤 徳之（担当職員） 山口 秀峰（筑波大学芸術専門学群卒・担当職員）
	平成20年度は開催せず。
UT Club	
構成員	古川 美歌（生命環境科学研究科1年） 岩田 美穂（社会学類4年） 大久保圭祐（芸術専門学群4年） 戸谷 朱里（知識情報・図書館学類2年） 人見 千尋（知識情報・図書館学類2年） 山本 陽平（情報科学類1年） 北澤 徳之（担当職員） 山口 秀峰（担当職員）長谷川英祐（担当職員） 上坂 元紀（担当職員）
ミーティング： 毎週水曜日	・UTcollection商品開発に関する検討 ・学園祭販売企画実施 ・学年暦カレンダー、手帳の企画および制作 ・新規アイテムの企画及びデザイン ・資料整理、作業等
見学等	・製紙工場見学（2008年8月）
販売促進	入学式特設販売（2008.4.8） 大学説明会特設販売（2008.7.29～31） 学園祭ショップ「UTshop」出店（2008.10.11～13） 卒業式特設販売（2009.3.25）
その他	特設自由科目「筑波大学を創る」グッズプロジェクトへの協力
Net Project	
構成員	周 昕（システム情報工学研究科後期課程1年） 近藤 貢二（自然学類卒業生） 村上 公一（担当職員）
ミーティング 週1回程度	・紫峰会ホームページの作成・更新 ・紫峰会ホームページのデザイン変更企画 ・インターネットサーバーの保守・管理 ・メーリングリストの運用 ・茗溪会ホームページの更新作業

II-7 その他特記事項

個人情報の取り扱いについて
<p>「国立大学法人筑波大学と紫峰会（筑波大学学生後援会）における保有個人情報等の提供等に関する申合せ」を締結した。</p> <p>会員および学生からお預かりした個人データの安全管理のために、安全管理措置を講じた。</p> <p>当会において個人情報を取り扱う従事者は、法令および内部規程を遵守し、個人情報を適切に管理した。</p> <p>監査責任者を選任し、個人データの安全管理措置の評価、見直しおよび改善を行った。</p> <p>個人情報保護管理者のもと、内部規程の整備、運用および従業者の教育を行なった。</p>

III 事業

III - 1 運営支援事業

課外活動等の関連情報を提供し、学生の団体・組織の運営の安定・充実を促すため、学生の団体・組織を対象とし、会計面接、運営相談、課外活動に関する情報収集を行った。

a 会計面接を含む団体の会計相談の実施

- 会計面接は、課外活動団体全団体を対象に年一回、大学会館会議室において、以下の目的で行っている。
(団体側参加者：責任者・会計、当会側：担当職員・担当財務局長)
- ・ 団体への援助金が団体の会計に入金されていることを確認する。
 - ・ 団体援助金の支給が適切であったのか、支給された援助金の活用状況を確認する。
 - ・ 各団体の会計処理が円滑に行われているかを確認し、併せて各団体の活動状況も把握する。

実施時期などは以下の通り。なお、各団体の会計状況・帳簿状況等はおおむね良好であった。

	実施団体数(会計数)	実施時期
体育会本部	56団体(65会計)	7・8月(夏休み中)
体育会医学支部	1団体(19会計)	2・3月(前期試験・春休み中)
文サ連	41団体(47会計)	2・3月(前期試験・春休み中)
芸サ連	28団体	11月(秋休み中)

日常的に会計相談や援助金申請の相談窓口を設置してほしいとの要望から、会計クリニック(毎週月曜日の18時～19時30分・予約制)を実施した。のべ約20団体の利用があった。(会計面接の再接触を含む)

b 課外活動資料室による課外活動関連情報の収集・整理・蓄積および閲覧等の対応

- 課外活動資料室に白書編集部を置き、資料・情報の収集・整理・蓄積を行った。
2004年度、2006年度、2007年度課外活動白書の編集に必要な情報収集ならびに編集作業を行った。
財務会議の補佐を行う同資料室財務部会、広報会議の補佐を行う同広報部会と白書編集部との連携を強化するため、それぞれの代表者と担当職員が定期的に情報交換を行う連絡会が設置された。
三系財務局長・課外活動資料室の協力により、課外活動団体会計マニュアルを作成し、各団体の会計担当者に配布した。

III - 2 財政支援事業

学生の諸活動を推進・育成する団体・組織・機関や学生個人の財政を補助し、課外活動や学生生活の発展・充実を促すことを目的として、各種助成金の給付、一時資金の貸付などを行った。

a 課外活動団体への援助金(一般援助金、遠征援助金)の給付

文サ連、芸サ連、体育会の各所属団体より報告のあった収入支出を団体別系別に集計した一覧を元に系別配分額案を作成した。なお、援助対象経費の抽出および集計表の作成は各系の財務局で実施している。
平成20年度課外活動団体援助金系別配分額に基づき、各系責任者会議において各団体への配分額が決定された。平成21年5月紫峰会から各団体に給付する。(団体配分額については別紙参照)

平成20年度系別配分額	援助対象経費集計期間	一般援助金	遠征援助金	計
文サ連	平成19年10月～20年9月	819,362	459,604	1,278,966
芸サ連	平成19年10月～20年9月	1,135,829	1,382,088	2,517,917
体育会	平成19年10月～20年9月	3,544,809	8,658,308	12,203,117
合計				16,000,000

b 特別援助金の給付

国際社会・地域社会に広く開かれた大学という開学の理念にのっとり、国際交流・地域交流・社会貢献活動を促進することを目的とし、筑波大学の課外活動団体及び学生団体、またはこれに所属する学生個人の当該団体本来の活動であり、経費負担者(他の援助者を含む)の負担能力を上回るもの、筑波大学の名誉を高めその学生への援助効果の大きいものに対して支給される。支給基準は次の通りとなっている。

海外遠征

海外遠征S = オリンピック・世界選手権クラスの大会に日本代表として出場した場合。

援助率は自己負担金の25%以下。

海外遠征A = アジア大会・ユニバシールドクラスの大会に日本代表として出場した場合。

援助率は自己負担金の**20%以下**。

海外遠征B = 一定の選抜課程を経て日本代表として国際大会に出場した場合。

援助率は自己負担金の**15%以下**。

海外遠征C = 自主的に海外遠征した場合。

援助率は自己負担金の**5～10%程度**。

後援事業

主に地域交流行事やその他大規模事業のこと。援助率は自己負担金の**5～10%程度**または総経費の3～8%程度。ただし、一般援助金の援助率を下回ることはない。

記念行事

団体のn周年記念式典や記念公演などのイベントが対象となる。援助率は総経費の**3～10%程度**。但し、大規模事業を含む場合は後援事業に準ずる。

社会貢献事業

社会福祉活動や地域に根ざしたボランティア活動などのイベントが対象となる。チェックリストをもとに社会貢献事業として取り扱うかどうかや援助率を決定する。援助率は自己負担金の**5～30%程度**。

特別援助金支給状況は別紙の通り

c 課外教育行事への援助金（学園祭援助金、スポーツ・デー援助金、諸行事援助金）の給付

学生の組織等が主催する行事に対して援助金を支給した。

懸案となっていた学類新歓への援助金支給基準の作成を行った。

申請は、原則として所属する組織の承認・推薦を得た上で、援助金申請書・予算書・事業計画書・決算書・事業報告書・領収書・その他資料などを学生財務会議に提出し、金額を決定した。また支給したイベントにおいて、役員から学生の代表に目録の贈呈を行った。支給状況は別紙の通り。

d 一時資金の貸付（緊急貸付金、団体貸付金、課外貸付金）

貸付金規程に基づき貸し付けを行った。

緊急貸付金：在学生（生活資金等） 無利子 1年以内 25万円まで

課外貸付金：課外活動団体で活動する個人 無利子 1年以内 20万円まで

団体貸付金：課外活動団体（会計） 無利子 4年以内 60万円まで

平成20年度の貸付状況は以下の通り。

	緊急貸付金		課外貸付金		団体貸付金		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
前年度から繰越	19	3,745,200	0	0	3	607,500	22	4,352,700
本年度新規貸付	28	6,320,000	3	440,000	0	0	31	6,760,000
本年度返還者 ()内は完了者	26 (21)	4,970,000	3 (2)	380,000	3 (3)	607,500	(26)	5,957,500
年度末貸付残高	26	5,075,200	1	60,000	0	0	27	5,135,200

e 組織助成金の給付（三系公用コピー代を含む）

学生組織（文サ連・芸サ連・体育会・全代会）執行部が、公用で紫峰会事務所のコピー・印刷等を大学会館・追越の両店舗で行う場合、助成の一環として無償で利用できる。これは、各系主催行事（スポーツ・デー等）の場合にも適用されている。この枠から全代会構成員の名刺制作なども行われた。

f 大学の課外活動の育成指導に関する経費の補助

大学の行う行事等で、学生後援会としてふさわしいものについて、大学の支出要請に応じて補助を行った。

学生部学生生活課（春季・秋季スポーツ・デー）

学生部学生生活課（学生死亡時に香典代を支給）

学生生活支援室（防犯ポスターフォトコンテスト）

「育成指導給付」のあり方について、検討がなされ、大学主催（または共催）イベント等に関する経費で、大学の一般会計からの支出が難しいもの、その他連携協議会で必要と認められたものを給付対象とし、より透明度の高い運営を目指していくことが確認された。

g 海外遠征等の際のUTコレクション・アイテムの支給

課外活動団体が海外遠征等を行う場合、相手先との交換などのための記念品を三系執行部の推薦を経て現物支給している。

参加人数 20名以内 20,000円まで

21名～40名 40,000円まで

41名以上 60,000円まで

III - 3 生活支援事業

学生等の相談を受け、必要な情報を提供し、就職活動や学生生活の充実を促し、生活相談、生活関連情報（アルバイト、アパート、就職活動など）の収集・提供を行った。

a 生活情報サービスの実施

紫峰会報別冊を作成し自動車保険や自動車所有・使用に関する情報提供を行った。

b 貸付金面接時生活相談および会員からの電話等による学生生活関連の相談への対応

学生の生活相談の主な内容は以下の通り

- ・緊急貸付金について
- ・出納管理の方法について
- ・年間の資金繰りについて
- ・アルバイト先について

会員からの電話・E-Mail等による学生生活関連の主な相談内容は以下の通り。

- ・紫峰会報とUTコレクションカタログをなくしてしまった。もう一度送ってほしい。
- ・紫峰会への入会について教えて欲しい。
- ・学生総合補償制度に加入したい。
- ・学年暦カレンダーを送って欲しい。
- ・大学のイベントの時期を教えて欲しい。
- ・UTコレクションに追加して欲しい商品がある。
- ・研修センターを予約したい。
- ・子供が急病で動けない。病院を教えてほしい。
- ・子供が手術をする。保険が効くのか？
- ・入学式のときに会員証が必要か。
- ・アパートについて教えて欲しい。
- ・親でも卒業式を見ることができなのか。

III - 4 広報渉外事業

会員など学生に関わりのある人々に情報を提供し、支援の輪の強化・拡大を図るため、会員または入会案内対象者（地域住民、企業等を含む）などへ紫峰会報や入会案内の発送をおこない、父母等会員の入会率の向上、団体賛助（協賛会員）・地域賛助会員・学内賛助会員の拡大を図った。

a 機関紙「紫峰会報」の編集・発行

「紫峰会報」を年間5回（4・7・9・12・2月）、合計約83,000部発行した。発送作業は、三系執行部の呼びかけにより、課外活動団体所属学生のボランティアによって行われた。

b 適切な案内・催促等による入会促進

在学生未入会者への案内

- ・年初の入会者数が大幅に増加したが、例年通り入会の呼びかけを行った。
- ・会計面接において、紫峰会への加入の呼びかけを行った。
- ・紫峰会報の作成にあわせ、未入会保護者へ入会催促を行った（下記の表を参照）。

「ご加入のお願い」送付時期と件数

送付時期	送付数	備考
4月(会報110号)	2,653	1年次(学群・大学院)
7月(会報111号)	4,875	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群) 4(医学6)年次(学群)
9月(会報112号)	2,124	1年次(学群・大学院)
12月(会報113号)	4,863	1年次(学群・大学院) 2年次以上(学群) 4(医学6)年次(学群)
2月(会報114号)	2,017	1年次(学群・大学院)

平成20年度入学者に対して、以下のような取り組みを行った。

- ・入会案内は、学長、会長、副学長の挨拶文や、学生の代表等の入会依頼の文章を中心に作成し、学生への具体的な支援内容を書き添えるなどした。また、学群生、大学院生向けそれぞれの入会案内を作成した。
- ・事業案内は、各業務を紫峰会3事業に分類し説明する内容にした。

- ・紫峰会報に課外活動団体構成員数一覧を掲載した。
- ・学生宿舎の入居日に入会・相談窓口を設置。窓口対応の人数を増員した。また、窓口において、平成21年度学年暦カレンダー・クリアファイルを手渡し、呼びかけを行った。
- ・新入生オリエンテーションにて、紫峰会の説明を行った。

c 学内情報の問い合わせ先案内・照会

学生保護者から、電話・E-MAILによる問い合わせに対し、学内の問合せ先窓口の照会・案内等を行った。

- ・授業料の問い合わせ窓口を教えて欲しい。
- ・奨学金の教えてほしい。
- ・大学、宿舎の住所を知りたい。
- ・入学式・卒業式の時間や駐車場について教えてほしい。
- ・学生宿舎についての問い合わせ窓口を教えて欲しい。
- ・子供が精神的に参っているようなので、相談できるところを教えて欲しい。
- ・休学等の相談をできるところを教えて欲しい。
- ・宿舎の断水について、どこへ問い合わせればいいのか。
- ・子供が「卒論が書けず、研究室に行くのが嫌だ」と言っている。どこに相談したらよいか。
- ・教育大の卒業証明書の問い合わせはどこにすればよいか。
- ・学生のアルバイトについて、どこに聞けばよいか。

d 交流支援

茗溪・筑波グランドフェスティバル学生事務局に対して、ミーティング・作業スペースの提供など活動環境の支援を行なった。

III - 5 サークル・サポート事業(紫峰会大学会館事務所併設店)

学生やOB等の集团的・組織的活動における関係作りの利便性を高め、その活動の発展・充実を促すため、学生の団体・組織、OB団体などを主な対象として、印刷サービス、事務機器供用サービス、名簿関連サービスなどを行った。

a 団体向け情報加工サービス(情報・印刷関連機器・作業空間の供用)の実施

印刷サービス

印刷機を設置し、サークル等のピラ作成や冊子作成の印刷サービスを行った。

印刷機利用料は実費程度である。(インク色は黒・青・赤・緑の4色)

製版代 80円/版 プリント代 1.5円/枚

用紙代 A3 = 1.9円/枚 B4 = 1.5円/枚 A4 = 1.2円/枚 B5 = 1円/枚

コピーサービス

複合機を設置し、学生団体等の書類出力等のサービスを行った。

白黒コピー(プリントアウト代) 10円/枚

その他

冊子(名簿や部内誌など)の原稿整理や印刷後の紙折、ホチキス留めなどの作業を行う場所を提供した。

また、宛名ラベルや封筒の販売などを行った。

b 団体等のOB会事務サポート(名簿管理・機関紙等配送など)の実施

吹奏楽団OB会の通知発送、名簿作成などの作業代行を行った。

クロネコメール便(1通80円2cm厚まで)を利用して発送代行を行った。利用団体は以下の通り。

体育会OB・OG会、アイススケート部、サイクリング部、漕艇部、アメリカンフットボール部

硬式野球部、水泳部茗水会、体育会執行委員会、吹奏楽団、医学ヨット部等

保険の集金代行システムを活用して、自動振替による団体OB会費の徴収代行を行った。あわせて紫峰会の入会案内を送付した。利用団体は以下の通り。

体育会執行委員会OB会(29件)、医学スキー部OB会(52件)、アメリカンフットボール部後援会(92件)

医学ヨット部(22件)

c 機関紙配送を利用した協賛会員のDMチラシ折込サービスの実施

利用団体3件(紫峰会報110,112,114号同封)

d 紫峰会大学会館事務所併設店舗の運営

・主に前各号のサービスを提供するため、紫峰会大学会館事務所併設店舗を運営した。

営業時間 : 平日午前10時から午後7時、土曜午前10時から午後6時、日曜日・祭日は休業

III - 6 グッズ&メディア

大学や学生生活に係る情報やグッズなどの流通・高品質化を図り、大学への帰属満足度や連帯意識を高めるため、以下の事業を行った。

a UTcollection (UTcollection 企画・開発・販売 商品売上)

新規のUTコレクション商品の企画

開発にあたっては、学生の開発チームである「UTClub」、UTコレクション企画室の協力を得ながら検討を重ねながら進めた。あわせてスタッフ側の体制を整理し、企画書様式一式・原価計算方式の再整備を行い、開発の適正化を図った。また、農林技術センターや芸術学系などの学内組織との連携を図ると共に、地元業者と連携したもののづくりの方向性も模索した。

さらに、平成20年度1・2学期に開講された特設自由科目「筑波大学を創る」のグッズプロジェクトに協力し、授業履修者と共に新商品の企画を行った。

今年度販売開始した商品は以下の通り

ネックストラップ、ボトルポーチ、クラッチバッグ、ポロシャツ ベーシックホワイト、絵皿-筑波一望、名刺入れ(新色追加)、筑波大学トイレトペーパー ツクルクルッ、音声歩数計、ノートA罫(仕様変更)、ルーズリーフA罫(仕様変更)、スマートカードケース、封筒(角2・洋長3)、つくば時刻表2008春夏号・秋冬号、平成21年度学年暦カレンダー、平成21年度学年暦手帳、パウンドケーキ(ブルーベリー・イチジク)

販売・普及(販売実績は説明資料を参照)

販売業務全般においては、在庫管理を徹底すると共に、受注・配送の体制を整えるよう努めた。

通販販売においては、カタログでの商品解説をより明解にし需要を喚起させる誌面づくりに努めた。また、ネットショッピングサイトをより便利で買いやすいシステムにリニューアルし、受注数を向上させた。

卸し販売においては、卸し先へ定期的営業訪問を行ない、販売機会を逸さないよう努めた。平成20年12月につくば駅物産店が開店し、新規に卸販売を開始した。

広報普及に関しては、平成20年8月8日の朝日新聞茨城版に上記「筑波大学を創る」でのグッズ開発のニュースが掲載されたほか、「筑波大学新聞」など学内メディアからの取材に積極的に応じた。

通信販売

- ・紫峰会報にカタログ・郵便振替用紙を同封(8500部×5回、会員価格)
- ・茗溪会の協力により、季刊誌「茗溪」にカタログ・郵便振替用紙を同封(23000部×1回、定価)
- ・紫峰会WEBサイト(会員価格・定価)

学内受注

- ・紫峰会報配布時にカタログと注文用紙も配布し、教職員から校費により受注した(定価)。
- ・学生団体の各種イベント時に記念品などの相談を受け、受注した。

当会店舗販売

- ・UTshop大学会館店・追越店(定価。会員には会員証提示により会員価格)での対面販売
- ・宿舍入居期(追越店にて4/4 -11)、入学式(大学会館店にて4/8)、大学説明会(大学会館にて7/29 -31)、学園祭(大学会館店にて10/11 -13)、クリスマス(追越店にて12/15 -25)、卒業式(大学会館店にて3/25)に特設販売を行なった。
- 学内委託販売(卸価格)
 - ・厚生会書籍部(大学会館・各学群書籍部)にて店頭販売を行った。
 - ・大学附属病院売店にて店頭販売を行った。
- 学外委託販売(卸価格)
 - ・つくばエキスポセンター、つくば美術館、つくば駅の売店にて店頭販売を行った。
 - ・学外13店の書店にて「つくば時刻表」の店頭販売を行った。

b UTservice (学生やOBの団体などのCIグッズ・媒体等を受託制作)

UTCollectionの制作ノウハウを活かして、クラブ・サークル・学類などからの受託制作を行った。

今年度作成した主なUTserviceは国際総合学類紹介誌、体育会「紫峰」32号、医学専門学群卒業試験問題集、スポーツデーメダル・ポスター等

III - 7 パーソナル・サポート事業(UTShop大学会館店・追越店)

学生の学習・生活環境の利便性を高め、大学生活の安心・充実を図るため、コピー・出力・FAX・名刺・製本などのサービス、文具・雑貨(UTcollection等)販売、損害保険取次サービス(学生総合補償制度等)などを行った。

a 学生向けのDTP関連サービスの実施

コピーサービス

モノクロコピー(用紙共通)

・プリペイド方式

700円/100枚(7円/枚)

2000円/300枚(6.66円/枚)

5000円/800枚(6.25円/枚)

カラーコピー

・大学会館店(用紙共通)

30円/枚

・追越店

B4・A3:90円/枚 A4・B5:50円/枚

DTP関連機器によるサービス(追越店のみ)

カラーレーザープリンタ・カラーイメージスキャナー・パソコン2台及びソフトウェアの提供により、出力等サービスを行った。また、大判出力サービスを学園祭前1か月間に試験導入し、需要の調査を行った。

・カラー出力料金 B4・A3:90円/枚 A4・B5:50円/枚 A3ノビ:100円/枚

その他のサービス

Fax送受信サービス、ラミネートサービスを行なった。

・FAX 送受信(国内):10円/枚 送信(海外):実費通話料

・ラミネート B4・A3:100円/枚 A4・B5:50円/枚

作業空間の供用 コピー・DTP関連作業のための作業空間の提供を行った。

関連商品の販売(追越店のみ) コピー・DTPサービスに付随する商品の販売を行った。

b 大学公式ロゴ入り名刺制作(大学会館店・追越店)・論文製本制作(追越店のみ)

筑波大学公式ロゴタイプ名刺の受付・制作を行った。従来は追越店のみでの受付であったが、2008年1月より大学会館店での受付を開始し、受注数が増大した。利用件数は延べ507件(大学院生向け割引作成分76件含む)、売上は1,686,020円(大学院生向け割引への会費補填額205,200円含む)であった。また、追越店にて論文製本の受付・制作を行なった。利用件数は延べ30件で、売上は283,814円であった。

c 大学会館店の運営

・主に前各号のサービスを提供するため、パート職員が常駐し店舗運営に当たった。

(営業時間は午前10時00分から午後5時、日祭日休業)

・立地条件から、学会等での会館利用者・学外からの来訪者・留学生等の利用が目立った。

・今年度の延べ利用数は9,499件、年間売上は10,347,165円であった。

d 追越店の運営

・主に前各号のサービスを提供するため、パート職員または11種職員が常駐し店舗運営に当たった。

(営業時間は午前10時00分から午後8時、土日祭日休業)

・立地条件から、医学生・附属病院教職員・追越在住大学院生の利用が目立った。また、パソコンからのカラー出力サービスを行っているため、芸術の学生やサークル関係の利用者も確認できた。

・今年度の延べ利用数は2,818件、年間売上は3,656,377円であった。

e 学生総合補償制度およびその他の損害保険の取次

・学生総合補償制度加入人数は1,011名で、保険料総額は27,519,840円であった。

・保険金支払いは94件で支払金額は約479万円。クラブ活動中のけがによるものが多かった。

・学園祭・宿舍祭などイベント時の保険の取次ぎを行った。

・学生総合補償制度の引受け代理店の協力を得て学生の自動車保険相談と取次ぎを行った。

・平成21年度入学者を対象としたパンフレットを作成、入会者へ郵送した。

・平成21年度宿舍入居日の入会窓口に、保険代理店の担当職員が参加、保険相談などを行った。

f その他

・卒業式向けの、花束の予約販売を行った

利用延べ数は49束、売上は91,000円であった。

III - 8 付随的収益事業

・特になし。